

# ルルドの丘

2012  
12月  
No.24



目次

みことば・きらりん .....	2	ヴォイス(2) .....	8
巻頭言 .....	3	ぽっかぽか .....	10
ヴォイス(1) .....	4	ぴかぴかぴか・作品紹介 .....	11
おでかけ・できごと .....	6	行事予定・編集後記 .....	12

社会福祉法人 聖母の騎士会  
 恵の聖母の家  
 児童発達支援センター めぐみ

# みことば

## ★光の主日であるクリスマス★

「その光はまことの光で、

世に来てすべての人を照らすのである」(ヨハネ1・9)

とあるように、イエスはお生まれになって世の光となりました。私たち自身、人生、心もこの神の光に照らされ、歩むべき道を見つけ、今まで気がつかなかったことがみえるようにと導かれます。ですから、神からの賜物である光を喜んで受けて、祝うのです。

-The mystery of christmas-



# きらりん★ 家族の日・文化交流

## 施設行事「家族の日・文化交流」

9月15日(土)に、施設行事「家族の日・文化交流」を開催しました。恵の聖母の家の施設三大行事である「家族の日」「ふれあい運動会」「クリスマスの集い」の見直しを今年度行う中、「家族の日」を地域社会との交流の場とし、また、開かれた施設を目標にかかげ、「家族の日・文化交流」と題して行いました。

当日は、大きく二つの会場に分かれて行いました。病棟ホールでは、音楽療法の公開療育を行ったり、病棟利用者や児童発達支援センターを利用している皆さん、保護者、職員の出展作品を鑑賞できるようにしました。地域交流ホームでは、臼杵市の地域で活動しているボランティアの方々が来園して、ほら貝、皿回し、バルンアートを披露してくださいました。また、父兄出し物では入所者のお母さんと職員2名が「瀬戸の花嫁」「北国の春」の歌を手話で行い、利用者主体の仮装ショーでは、4チームがそれぞれオリンピック、ハロウィン、おとぎの国のお姫様の仮装や水戸黄門の寸劇を行いました。利用者の方は職員手作りの色鮮やかなドレスを着て背筋を伸ばしたり、「〇〇さんに見て欲しいなあ」とにこにこして嬉しそうな表情でステージに出ていました。その他には、綿菓子コーナーや園芸クラブの利用者が種まきから行い、がんばって作った沖縄きゅうり、かぼちゃなどを販売する直売所を設け、職員からも、自家製のナスや大根、かぼすなどいろいろな野菜を提供してもらいました。多くの方に購入していただき、完売できたことに感謝いたします。

次年度も多くの方に協力をお願いして、楽しい行事にしたいと思います。

(保育士 荒木優希)



## 巻頭言

### 施設長 佐藤圭右

大分県の人口は、百二十三万三千人で、そのうち約三十八%の四十六万四千人は大分市に集中しています。大分大学医学部附属病院さんは大分市と由布市の境にあり、由布市が所在地になりますが、それ以外の多くの医療機関も大分市に集中しています。

しかし、重症心身障がい児者以下、重症児者を専門に看る施設は、大分県には、中津のすぎな園さん、別府市の国立病院機構西別府病院さん、別府発達医療センターめじろ園さん、そして大分市には入所ができる施設はありませんが、テイケアの施設として大分療育センターさん、大分子ども療育センターさんがあります。そして当施設、恵の聖母の家の五か所だけです。

ご存知のように、恵の聖母の家は大分市の南隣の臼杵市に所在していますが、当施設以外に大分県南部には重症児者を専門に看る施設はありません。この大分県南部の人口は二十一万三千人で、約十七%に過ぎませんが、その面積は大分県の三分の一強の約二千三百五十五平方キロメートルです。この面積の広さですが、二十三区を含む都市部や多摩地区、島嶼部まで含む東京都全体の二千八百八十七平

方キロメートルよりも広いのです。

このような地域でも、在宅の重症児者もいらっしやいますし、その地域での生活を望まれるのは当然です。その要望に応えるべく、大病院さんや県立病院さん、医療センターさんなどの基幹病院と連携し、地域の一般開業医の先生方や訪問看護ステーションさんなどと共同して、当施設でも、訪問診療、訪問リハビリテーション、短期入所事業などの在宅支援を行ってきました。その訪問範囲は車で片道一時間かかることもあります。

しかし、増える需要に対し、医師不足、看護師不足などの影響もあり、このような地方に来てくれる医師などの医療資源は限られていました。このような中、今年四月ですが、特定看護師が当施設への就職を希望され、研修を行うこととなりました。

看護師は、医師の指導の下、医療行為を行うことができますが、今後、医療の高度化や高齢化が進み、医療現場の負担が増えることが予想されているため、より高度な医療行為に携わることができるよう高い能力と実務経験をもち、看護師を特定看護師として厚生労働省が認定しようとしているものです。もちろん

ん、安全性などを理由に制度の導入を反対している動きもあります。

そのように賛否があるのは承知していますが、その特定看護師に、

- ・ 訪問診療のできる訪問看護師で、在宅医療の場で診察ができ、病態が考えられること
- ・ 医療設備がない在宅の場所では、特別な手技は必要としない
- ・ 急変が予想される小児、予備力の乏しい重症心身障がい児者だからこそ、その病態を把握して、正しい対応をしなければならぬ

このようなことを、今、自分は望んでいます。在宅医療の中では、人工呼吸器のアラームが鳴る、非侵襲的陽圧人工呼吸(NPPV)のマスクのフィッティングが悪い、注入後の嘔吐、湿疹・手指のびらんなど、訴えは種々で、その原因も多岐にわたります。

在宅重症児者の病態を考え、鑑別疾患を挙げ、受診を要するのかどうかを判断する、迷った時に施設にいる医師に共通言語で所見を伝え、判断を仰げる、他職種とも連携を図ることができると。そのような

特定看護師を期待し、今後育成していききたいと考えています。

# 薬局



## 大きな夢・小さな夢

薬剤師 伊賀 津與繁

先日、小学一年生の孫のもりで、時間をもてあまし、大在公共埠頭へ釣りをしているのを見に行ったら。孫は、サッカーの練習後なので、着替えてから行くと言っても反抗期のように、言うことを聞かず、ユニフォーム姿のままであった。

孫が、釣りをしている方の横に腰かけ、いろいろ話をしているうちに、その方から「大きくなったら、トリニータに入るのか」と言われた。孫は、すかさず「スペインのリアルマドリードに入る」と答えた。私も「えっ」と思いながらも「夢は大きい方がいいか」と言ってしまった。ふっと、自分がこの孫の年齢の頃、こんなことが言えただろうか。何か夢はあっただろうか……。

貧しい家庭の長男に生まれ、親は子供三人を食わせるだけで精一杯。そんな中だったので、この年齢で将来何になりたいなんて考

えもしなかった。それでも成長とともに、まわりが見え始め、少しずつ自分の将来について考えられるようになってきた頃、はじめて抱いた「大きな夢」は、オリンピック選手になることだった。

それは中学三年の時に東京オリンピックが開催されたこと。そして、その年に陸上(走り幅跳び)で、県の中学記録を塗り替え、ブロック大会で全国一位の選手と競り合い、二位に終わったが、関係者から「将来が楽しみだ」とか、ある先生からは「高校では身長が伸びれば、百米メートルは高校記録まではいくだろう」とささやかれたからだ。それで舞い上がり、本気で陸上を続けようと決心し、高校では日本一をめざして取り組んでいた。

しかし、一瞬の事故でその夢はどこかに飛んでいってしまった。しばらくは、夢を失って何も手につかず、放課後の時間をもてあまし、友だちの家に泊ったり、映画を観に行ったり……。

そうしているとき、本が好きな友達から誘われ、放課後は毎日学校の図書館へ、いつの間にか嫌いだっただ読書もするようになり、気がついたら、科学関係の本は全て読んでしまっていた。このことが影響したのか、将来は化学者(薬剤師)になりたいと考えるようになり、少しずつ机に向かいはじめ

た。

幸いにして、大学に入り研究者をめざしたが、大学院に行くための費用もなく、民間企業に就職、そこで研究者を旨としようと考えた。現実には甘くなく、研究者に採用されたのは大学院を出た人ばかりであった。大学の恩師からも大学院に帰ってこいと誘われたが、年齢も上がり断念、薬剤師としてやっていこうと決心し、妻の故郷である大分県に採用され、それから三十年、仕事中心の日々を過ごしてきた。

当園に採用されてから、少し余裕もでき、いろいろと考えるようになった。「人生の楽園」の主人公のような新たな夢の挑戦とまでは行かないが、仕事以外に釣りしか興味のなかった人間にとつて、「新たな夢」の設計はいささか厳しいものがある。ものまねかもしれないが、当園の職員の方々にいろいろ教えてもらいながら、家庭菜園に取り組んでいる。きゅうり苗を買って植えたら、へちまのようなものができ、「これ本当にきゅうり?」、ゴーヤ畑をいっぱい植えたらゴーヤ畑になってしまった、家族はあきれ顔……失敗の連続である。野菜を育てていると妻の両親に話したら、畑を使えばいいと言われたので、ついつい家庭菜園にも力が入り、古傷の腰を痛めてしまった。

これからは、気力・体力と相談しながら、力まずにできる「小さな夢」を探してこい、二年いろんな所をぶらぶらしてみようかも考えているこの頃である。

## 課 護 視 看



## 元気で働けるように

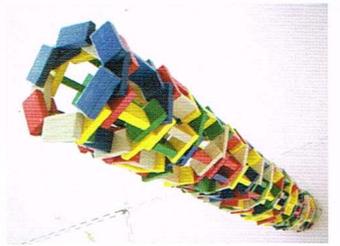
看護師 若杉 智子

今年の健康診断でコレステロールの値が高かったので、病院受診するようにと封筒が入っていた。昨年も少し高かったが五十歳過ぎると少しずつ上がってきている。特に悪玉コレステロールが高い。母が脳出血、父が心筋梗塞だったので、少し心配になってきた。何かはじめようと思うが、運動はあまり続かない。プールの中で歩いてみることにした。二十分歩いて、ジャグジーに十分つかる。これがリフレッシュできて気持ち良い。有酸素運動にもなるし、歩いていると頬が赤くなって血行が良くなった感じがする。家に帰ると脇腹も少ししまった感じがする。嬉しくなってきたので、できるだけ続けていこうと思う。そして来年の健診ではコレステロール正常値を目指したい。

これからも自分の健康は自分で守り、元気で働きたいと思う。

# 訓練

みいくん(伊賀上湊)



作業療法士 児玉 敬祐

「バイバイ。バイバイ」と言いながら、みいくんは私に手を振ってくれます。私が出動する前、自分が散歩に行くとき、お風呂に行くときなど、何かあれば「バイバイ」と言っています。

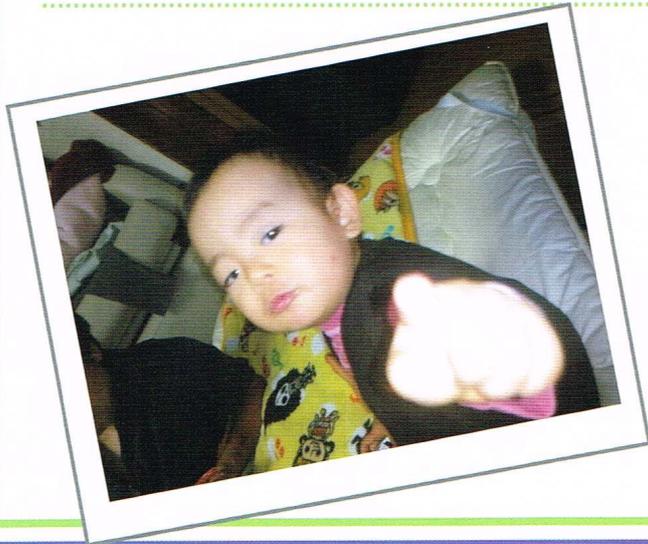
みいくんは、姉の子どもです。姉は福岡に住んでいるのですが、第二子が生まれるというので、今年の七月二十三日から児玉家にみいくんと来ています。みいくんは来たばかりの時、三歩フラフラしながら酔ったように歩いていました。言葉もはっきりせず何を言っているかわからず宇宙人語を話しているようでした。



しかし、最近では私が出動する際に「ジイシ。ジイシ。バイバイ。バイバイ。タッチ」と言いながら玄関までハイタッチしに来てくれます。

みいくんは、この数ヶ月でいろんな事が出来るようになりました。「ゴミを捨ててきてね」と言うと、「ゴミをポイと捨てたり、妹の侑海(ゆうみち)ちゃんにヨシヨシと頭をなでてあげたりしています。また、八月から保育園デビューもしています。保育園では、お友達の玩具をとったりして玩具を独占しているそうです。とてもヤンチャ王子様に育っています。みいくんの成長の早さには驚かさせられます。

最後に「バイバイ。タッチ」



# 生活課 生福祉



## 活動紹介

スポーツレクリエーション

主任 竹尾 昭彦

二〇一一年度より、グループ活動の一環として「スポーツレクリエーション」をはじめ、今年で二年目を迎えました。「余暇活動を活用し、スポーツレクリエーションを通じて楽しみや爽快感を味わい、仲間づくりや家族との触れ合い、体力の保持と健康増進を図る」を目的とし月一回、年間八回の計画を予定しています。

今年度は、「ボウリング・ポッチャ・ターゲットバードゴルフ・スクイバールン・大分県レクリエーション協会用品」とバラエティーにとんだ内容となっています。日曜日の午後から病棟ホールで、開催しているので面会に来られたご家族の方へも参加を募り毎回のようには声援や笑い声が飛び交い賑やかな様子で楽しく過ごすことができています。中でも一番の人気は「ボウリング」でしょうか?ボウリング場の雰囲気ながら「カコーン」とピンにボールが当たる音に期待と不安を抱えながら利

用者、ご家族、支援者それぞれが真剣な表情でストライクを目指されています。

大分県レクリエーション協会を利用し、レク用品も借りて、日頃体験することができない活動にも興味や関心を持たれている方もいます。各月、対象利用者は決まっていますが、自由参加もできますので、お気軽にお越しいただければと思います。

今後皆さんにとって「スポーツ」という言葉から想像されるように、爽快感やリフレッシュに繋がられる内容を取り入れて盛りだくさんに提供できるよう努めていきたいと考えています。



**2012年8月25日土曜日ボランティア公演 人形劇マーブル**  
 2012年の夏も人形劇マーブルの皆さんが遊びに来て下さいました。「もういいかい?」との優しい声かけて「ミュージックパペットショー」が始まりました。はじめは4人のお姉さんと一緒に♪幸せなら手をたたこう、そしてマーブルのテーマを皆で歌いました。最初のお話は「赤いクレヨン」。赤色はトマトに、それぞれのクレヨンがいろいろなものを描いていきます。それから三匹の子ブタがあって、2人の人形が出てきて海の上を走るものや空を飛ぶもののクイズを歌やかけ声で楽しみました。いろいろな乗り物が出てきたことと楽しいかけ声で、会場は楽しい声が響いていました。そしてパペットの中のビスケットの歌、マルマルモリモリの歌では皆が一つになっていました。たまごが割れて何が出て来るか想像で楽しむプログラムもあり、皆さん、とても楽しまれたようです。最後は皆のところにパペットが来てくれて、ゆっくりと手を伸ばして慎重に触れられる方、ドキッとされる方が様々でしたが、とても関心をもたれたようです。入所者代表の方は「パペットシアターをみるのができて、とても嬉しかった」とお礼の言葉を伝えて、次回を楽しみにされているようでした。他の方は「マーブルのお兄さんがかっこよくてとても気に入った」と伝えられて、会場を楽しい雰囲気させていました。また、次回をお楽しみに。

**2012年9月6日水曜日 他施設実習報告**  
 6月に他施設を訪問し実習させていただいた報告会が開かれました。今回の報告会は他施設の良さに刺激を受け、自分たちの行っていることも改めて感じる事ができる良い機会となったようです。実習として受け入れて下さった各施設の皆さま、ありがとうございました。

**2012年9月15日土曜日 家族の日・文化交流**  
 ご家族との親睦を深めることに加えて文化的な交流を行っています。(詳しくは2頁と8頁の内容をご覧ください)

**2012年11月8日木曜日 事例研究発表会**  
 毎年11月は施設内で事例研究の発表を行っています。今回は入所者のケアの仕方に関する事、これまでの療育活動を振り返ったもの、ボランティアの定着等に触れたもの、所属する部署の取り組みを報告するものと様々な内容となりました。回を重ねるごとに事例内容も広がってきているようです。

**2012年11月11日水曜日 桜の実少年少女合唱団公演**  
 今年も桜の実少年少女合唱団の皆さまがディズニー、童謡等の歌で楽しませて下さいました。毎年、風船や木の葉を用いて歌の楽しさを伝えて下さっていて、今回はディズニーのかわいいキャップをかぶって歌が始まり、姿勢良く、まきびびとしたダンスに会場も目が釘付けになりました。また、「さんぽ」やドレミの歌では、団員の皆さまが会場の一人ひとりのそばに行き、向き合って手をとり視線を合わせて歌って下さいました。入所者に会うのは初めてという方もおられたと思いますが、小さい団員の方も口を大きく開けて、一生懸命、丁寧に歌って下さったのがとても印象的でした。入所者の方も手や身体でリズムをとると笑顔が出て、歌の楽しさを感じられていたようでした。会の終わりには退出される方々を歌で送って下さり、参加された方々も気持ちよく会場を後にされて、最後まで温かい気持ちに触れさせていただけただけの公演でした。開催にあたり、準備して下さいました関係者の皆さま、ありがとうございました。

**2012年6月15日土曜日第29回ふれあい運動会**  
 2012年から6月に開催となりました。今回のテーマは「こころひとつにつなげて運動会をがんばろう」です。開会の言葉で、副施設長から「ここ数年は白が負けすぎ」と白組は気合をいれられていました。選手の方からは「皆一緒に協力して盛り上げて楽しい運動会にしたい」との力強い宣言がありました。プログラムは大きなだるま落としをスティックで打って得点を得る「バランス感覚」、選んだ袋に5つのいろんな玉が入っていて、それを打って得点する「ナイスショット」。魚を釣って、魚ごとに得点かわかる「レッツフィッシング!」、フラダンスの衣装をつけて頑張る「それゆけ宝島」、ボウリングの方式でピンを倒し、それについている花のカードで絵を飾っていく「きれいな花を咲かせましょう」等々です。最後には「てんとう虫のサンバ」のダンスでいろんな方と触れ合いました。勝敗は368点対329点で、見事白組が勝ちました。終りの言葉は入所者の方からキングエイドを用いて自分で行い、競技も運営も皆で行えた運動会となりました。今回もたくさんのボランティアの方にご協力いただきました。ありがとうございました。

**2012年8月2日木曜日 ふれあい交流会**  
 恵の聖母の家には支援学校の訪問教育を受けている学生の方がおられます。そのつながりもあって、毎年、夏に臼杵支援学校の先生方が当施設で交流会を開いて下さっています。会の始まりでは、学生の方がひもをひっぱって開会のハルーンをあげ、日頃の学習の成果を披露して下さいました。続いて先生方によるフラダンス、そして青い布が曲とともに会場の皆に押し寄せて「海の波」を体感しました。会場に集まった利用者の方々も布が顔を通り過ぎるたびに「うわあ」と驚きや期待の表情をみせて楽しまれていました。後半はギターやキーボード等による「情熱大陸」の生演奏、そして南米の音楽では会場の皆が手にした楽器を鳴らして全員でリズムを楽しみました。今回は校長先生がカンツォーネを披露して下さい、放課後当施設で過ごされる児童の方も、校長先生の歌声とその姿にじっと見入っていたのが印象的でした。臼杵支援学校の先生をはじめ、関係者の皆さま、楽しい時間をありがとうございました。また次の夏を楽しみにしています。

**2012年8月15日水曜日 聖母被昇天・故利用者追悼ごミサ**  
 毎年、恵の聖母の家では8月15日の聖母被昇天のごミサにあわせてお祈りを捧げています。お盆のこの日、施設で亡くなられた利用者や関係する皆さまのために皆でお祈りを捧げました。



故利用者追悼ごミサ



ふれあい運動会



事例研究発表会



人形劇マーブル公演



家族の日・文化交流

**2012年10月2日火曜日 室内レク**  
 施設外での活動が難しい方を対象として、人工呼吸器管理の方2名と活動を行っています。健康状態を確認して室内ではなく、テラスで日よけを用いて行っています。テラスでは鳥の鳴き声が聞こえたり、シャボン玉に触れたりして、入所者の方も楽しめたのでと思います。車椅子に移るとキョロキョロと視線を動かして、やや緊張した表情をみせていた方もご家族の声かけで穏やかな表情を見せて下さっていました。和紙の色選んでよく目を向けてたりされ、作品を仕上げた皆で活動の楽しさを分かち合いました。

**2012年10月11日木曜日 臼杵マルショク**  
 朝、ベッドから車椅子に移るとぱっと明るく上品な表情にかわって、お話をたくさん始められた方、車内では外の景色をみて声を出して笑ったり、日頃よりも表情を見せて下さる入所者の方、手を叩いて少し興奮気味に笑う方等、移動の時から気持ちよくされていたようです。買い物では目当ての商品(童話のCD)が見つからずに悲しそうな表情をされた方、ご家族が示された服を「これがいい」と手を伸ばして選んだ商品をしっかりと手にされた方、自分から旅行コーナーに歩いて行って、大分の本を選んで楽しまれ、買った後も本が気になって仕方がなかった方等、日用品の購入では選ぶことに悩まれた方もおられて、皆、商品や買い物にとっても関心を示されて、買い物の楽しさを味わっている様子でした。施設に帰り、職員に買った商品をほめられると特によい表情をみせられた方もおられたようです。

**2012年10月25日木曜日 臼杵マルショク**  
 車椅子で移動することが好きな方はフロアをゆっくりとまわって、衣類やゲームセンターのところでは興味がありそうな表情で周囲を見まわして関心を示されている様子でした。服を示される手をあわせて「お願いします」のサインを出して、着ている自分の服をひっぱり、今すぐに替着たい気持ちを表されていました。写真の撮影も得意ではない方ですが、車椅子での散歩に満足された様子で写真にも落ち着いて応じられていました。他の方は、興味あるものにはすぐに手にとったり、気持ち良さそうな声を出されたり、特に食べ物には笑顔で、店内の商品を見てまわるのが大好きな車椅子散歩になり、笑顔でリラックスされていたようです。買い物では周囲を見つめたり、手にとった商品をじっくりとみて支援者の声かけに笑顔で「うらうら」とうなずいて、休憩中はゼリーをおいしくいただいて、買い物だけでなく、散歩や食事の楽しさも味わった活動となりました。  
 ※この欄の活動は佐藤寿洋と竹尾昭彦が実施しました。



**2012年5月31日木曜日 トキハわさだタウン**  
 参加にあたって電動車椅子か座位保持装置で参加するが悩まれた方もいたようです。店内も広がったので、当日は座位保持装置での参加にほっとされたとのことでした。リストをもとに買い物をして、次回の活動参加の意欲につながったようです。自分の足で店内をまわられた方は表情良く、また屋食のお弁当では笑って嬉しそうにされていました。毎年、アイドル写真集の購入を楽しみにされている方は、自分で手を伸ばして本をとり、胸に抱えこんでにっこりとされていました。普段、入眠傾向の入所者の方もしっかりと目を開けて過ごされて、ご家族も一緒に過ごす時間を楽しまれました。他の入所者の方も、ご家族の姿が目に入ると声をあげて喜ばれ、買い物で店内をみてまわる時も笑顔でした。昔から「トキハ」の言葉に敏感な入所者の方は、行く前から朝食をささっと、「おでかけします」と職員にいきまわって、「トキハにいきました」「時計かいてやろうか」との言葉をよく口に、「買い物せんといかん」「お腹すいたなあ」と話されていました。エレベーターでは「2階です」等の言葉を真似たりと、とても機嫌よい買い物となりました。

**2012年6月28日木曜日 道の駅みえ**  
 リクライニング式の車椅子で参加された方は、風があたると喜ばれて、屋外活動での自然の雰囲気を感じられていたようです。店内では、スイートポテトに良い表情をみせたり、笛を手にされる手と動かして喜ばれる方、ソフトクリームをおいしくいただく方と買い物の方も楽しまれたようです。散歩では車椅子の振動や屋外の雰囲気リラックスされて眠気のきた方、活動が始まると緊張が抜けてリラックスされたり、ご家族の声かけに手をふって応えられたり、安心した気持ちで皆と過ごせる時間となったようです。

**2012年9月27日木曜日 パークプレイス大分**  
 移動の時から車内でにっこり笑顔で楽しみにされていて、現地でご家族をみつくととても喜ばれ、用意したリストをもとに自分で服の色を選んだりしながら買い物を楽しまれた方、手でもって遊べる人形を探したりはピンクのかわいいぬいぐるみを買って握り締め、好きなものをきちんと選べていました。ご家族の姿を現地で目にされた方は満面の笑みを浮かべて、ご家族がきている喜びを一生懸命職員に伝えていました。また、車での移動中は次々に目に入ってくる車等を口にされたり、買い物でも自分でかごをもって買う物も選んで、支払いもされて、満足された方もおられました。食事では、大好きなお餅を笑顔でいただいたり、焼肉と冷麺、そしてデザートにワッフルと、コースのように楽しまれて、日常とは違う雰囲気を楽しまれたようです。

※写真は施設外療育の一場面です。



# こだま

でかいじ



サービス管理責任者 丸山 久幸  
九月十五日、恵の聖母の家「家族の日」が行われました。今年はいくまでと違い、公開音楽療法や地域のボランティアの方等、色々な方々との交流が企画されていました。  
児童発達支援センター「めぐみ」生活介護こだま・放課後等デイサービスからは五名の利用者が参加しました。病棟ホールで公開された「音楽療法」では、療法士さんの歌声が流れて、対象メンバーとなっている利用者の方はお母さんのマッサージュを気持ち良さそうに受けたり、めずらしい楽器も触って鳴らしたりしていました。  
一方、交流ホームでは、ボランティアの方による「皿回し」や「バルーンアート」で犬や剣、ハートを作っていました。また、園芸クラブやボランティアの方が栽培されたたまねぎ、ピーマン、椎茸等、野津の名産が並んだ産地直売コーナーでは、こだまの利用者のお母さん方にとっても交流を楽しむ場となっていたようです。

プログラムには親の会の皆さまによるカラオケもあり、めぐみの皆さんはファッションショーの方に参加しました。テーマは「ディスプレイのハロウィン！」。参加者はディスプレイキャラクターに変身し、職員も着ぐるみを着て舞台上立ちました。参加者それぞれの個性に合った衣装に多くの歓声を受け、ショーを楽しみました。ショーの終りの審査結果で「チームワーク賞」をいただきました。



ボランティアの皆さま



ファッションショー

## 放課後等 デイサービス



めぐみへ

おかえりなさい！

放課後等デイサービス 加藤昭子  
支援学校にお迎えに行き、めぐみの放課後等デイサービスのお部屋に帰ってきました。「おかえりなさい！」「いらっしゃい！」とみんなに迎えられてニコッと笑顔の返事が見られています。子ども達はいつもと同じ場所、いつもと同じスタッフの顔を見てはほっと一安心したような表情です。ご自宅へ帰られるまでの短い時間ですが、大好きなおやつを食べたり、訓練を受けたりして、それぞれの子ども達に合わせた遊びや活動を行い、ゆっくりとした時間を過ごしてもらっています。

長期休暇（夏休み・冬休み等）には、ご自宅へお迎えに行き、生活介護の利用者様と一緒に一日を過ごしています。車椅子レクダンスではリズムに合わせてマッサージュや楽器でのリズム遊び、ダンスを行ったり、ポッチャやターゲットゲーム等の大人数でのゲームを楽しんだりしました。



ときめき作品展の準備風景

大画面での映画をみたり、真っ暗にした部屋でライトや香りを使用してのスヌーズレンではリラックスマも体験したりしました。  
制作活動では花の絵のステンシルを行い、季節ごとのカード作りやときめき作品展に出品する為にさくらの木のちぎり絵を全員で取り組みました。様々な活動を通して子ども達の意欲や笑顔がみられ、スタッフも共に楽しく過ごしています。  
これからも放課後等デイサービスでの時間で子ども達がリラックスでき、楽しく過ごせる場所、ご家族の方々が安心してお預けできる場所を提供していきたいと考えています。



# 事務



## ラーメンのお話

事務 石田 亮一

私は食べ物の中では麺類が好きだ。特にラーメンには目が無い。今は忙しくてなかなか外出する機会が減ってはいるが、昔はラーメン特集の本が出るたびに買って、気になるお店があれば休日によく遠出をして食べに行ったものです。一日に3軒はしごもざらでした。

私の好みですが、やはり豚骨、もちろんスープはこってりだ。たまにスープはあっさりでも飲みやすい！と記事にあたりするのだが、豚骨はこってりだろう、と私は思う。ちなみによほど不味くはない限りスープは全て飲み干す。なぜかと言うと単にもったいないから。これはインスタントラーメンでも同じだ。そのため健康診断では総コレステロールの値が毎年上がる一方で、数字の横の赤い「H」マークが消えません。一応気を使って食後に烏龍茶を飲んではいりますが、なかなか効果は出ないようです。何か良い方法があったら教えてください。

地域によってラーメンの種類があるのはご存じだと思います。例えば北海道は味噌ラーメン、関東は醤油ラーメンといったように味も麺も違ってきます。大分県は主に豚骨ラーメンです。皆さんは豚骨ラーメンという大体が麺は細麺で固めでというイメージがあると思います。しかし私が住んでいる県南地方はスープはかなりのこってり、麺は太麺でやわめという独自の文化があります。豚骨でこの麺というのは全国でもかなり珍しいのではないかと思います。私は地元なのであまり気にはならないのですが、この太麺でやわめというのが他の地域の人にはたして受け入れられるのか？という疑問がありました。

そんな矢先、ちょうど横浜在住のラーメン好きの義兄が夏休みで大分に来ることにになり、迎えに行ったついでにラーメンを食べることにになりました。食べ終わったあとに恐る恐る感想を聞いたのですが、一言「うーん、スープはいいが麺がちょっと・・・」との意見でした。やはり他県の人にはあの独特の麺は厳しかったようです。しかしその後「あのスープで細麺を固めて食べるとみたい」と言っていました。実は私も前々から全く同じことを思っていたのです。残念ながらその組み合わせのお店はまだありません。新たな味の発見のためにもラーメン屋さんには是非ともチャレンジして頂きたいです！

## 児童発達支援センターめぐみ



### 今後の相談支援事業は？

課長 井上 勝巳

児童発達支援センターめぐみでは、今年度末までには指定特定相談支援事業、指定障害児相談支援事業の指定を受け、事業展開するための準備をしています。

平成二十四年度四月より相談支援事業所はサービス利用計画案を市担当窓口へ提出し、支給決定を受けたのち、定期的に計画がスムーズに実施されているかを見直さなければならぬことになっていきます。現実には、事務手続きが後手後手に回っている状況ではあるようですが、整備を整えているようです。今後、福祉サービスを利用する際には必要なマネジメントです。

今回はサービス利用計画の流れについてお知らせしようと思います。

### 保育所等訪問支援を

開始しました

臨床心理士 児玉 久美子

子どもたちが「地域の中で、楽しくのびのび成長できるように」と、療育機関のスタッフが地域に向かい、相談・支援を行う仕組みができました。障がい福祉サービスのひとつ「保育所等訪問支援」です。

児童発達支援センターめぐみでは、臨床心理士が、訓練課の協力を受けながら、発達外来に通院しているお子さんの保育園・小学校などに訪問を始めています。

始まったばかりの制度で、戸惑うこともたくさんありますが、個別の療育・訓練場面と集団生活をつなぐことで、利用者さんの笑顔に出会い、生活の充実のためにお手伝いできるのが、スタッフのパワーの源にもなっています。





## 保護者の皆様から

### 後見人の立場から

鹿嶋 隆志

保護者ではない第三者後見人ですが…

私は、現在、恵の聖母の家では5名の方の成年後見人（第三者後見人や親族の方との複数後見人）として利用者さんと関わっています。また、権利擁護委員のメンバーとしてもいろんな意見をしたり、職員の方たちとお話をさせていただいているところです。純粹の「保護者」という立場ではないという意味ではある意味場違いなのですが、今回はこのシリーズに寄稿することになり、第三者後見人としての想いを書いていきたいと思えます。

まず、私も仕事柄いろんな施設を回りますが、恵の聖母の家の印象は、いつ何っても時間がゆっくり流れているという印象です。他の同じような旧入所系の重心施設では、常に忙しく、ルーチンワークに忙殺され、利用者の方に時間をさけていない事業所が多く散見されます。昔に比べれば…は世の常ですが、客観的な視点ではお世辞ではなく本当にゆっくり時間が流れていて良い環境にあるといつも感じます。これは、設立者である神父様の理念が脈々と傳承されている証しだと思います。この設立理念は事業所として全体に譲ってはならない絶対的な魂の部分で「恵み魂」と言っても過言ではありません。これからは施設を経営できるセンスが事業所には問われますが、いつも理念に立ち返って進んで欲しいと切に願うばかりです。また私が後見人として当事業所に関わってから、「措置制度」から「契約制度」に大きく福祉制度が変更となりました。利用者側と事業者の関係も「お世話になる」から「利用する」という考え方に変更されると言われその過渡期です。最近、園内を面会や園内行事に参加した際に、保護者の方から「昔に比べたら職員の方とゆっくり時間をとったりできなくなった」「職員の入替わりが多くて誰が自分の担当なのか…」と言われる保護者の方の声を聞くことがあります。一般論で様々な事業所は「この悪法律が原因で…」と大義を唱えることがありますが、そうでしょうか？変化をチャンスだと捉えて情報をお互いが共有してよりよい支援が提供されるように切磋琢磨することが真の利用者のためにつながると確信しています。後見人は本人そのものとなってサポートする仕組みです。これからも本人の立場で、事業所にも保護者の方とも接していけたら幸いです。どうぞ気楽に「鹿嶋さん」と声を掛けてください。



## 支援学校 訪問教室

### サマースクール

大分支援学校 教諭 相馬貴代

担当する生徒が高等部1年生の8月から恵の聖母の家に入所して以来、園での授業を週に3回行っています。園の方には学習環境への配慮などいつも色々な面でご協力をいただき、大変感謝しております。

今年の夏休みには、普段会うことのできない訪問教育担当以外の教員6名と一緒に訪問させていただき、担当生徒と、ショートステイ期間中の中学部の生徒と合同で「サマースクール」を行いました。広い場所を準備していただき、その上、利用者の方、職員の方も一緒に、とてもあたたかく、にぎやかな雰囲気の中で活動することができました。教員による「KARAダンス」「マジックショー」「書道パフォーマンス」、みなさんと一緒にできた「パラバルーン」「かき氷」など、とても盛り上がりました。1対1の授業ではなかなかできない貴重な体験をして、生徒のよい表情がたくさん見られました。教員の私たちもとても楽しい時間を過ごすことができました。ご協力いただき、本当にありがとうございました。

担当生徒は、いよいよ来春卒業となります。残り少ない学校生活がより楽しく思い出深いものになるように、一緒に楽しく充実した時間を過ごしていきたいと思えます。

今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。



上：KARAダンス



上：マジックショー



上：書道パフォーマンス



上：パラバルーン



上：かき氷



上：記念撮影

# ぴかぴか ぴかぴか ぴかぴか

新年度に入られたスタッフをご紹介します。①お名前②職種③お住まい④趣味⑤一言



①中村早苗さん②看護助手③三重町④ミニバレーをしています。小学校の体育館で週に1、2回、20時から22時までやっています。気持ちがすかっとします。⑤2012年7月23日に入りました。ずっとのぞみです。「利用者の方ともしっかり関わって、自分のことももっと知ってもらって、相手のことも知りたい」という思いでいきます。



①衛藤清春さん②センター職員③野津町④一つのこと凝ることが好きです。⑤9月からセンターの送迎業務についています。よろしくお祈りします。

▼最初にとても敬語が徹底されていると感じました。のぞみの丘では午前中に福祉レクがあり、皆が集まって集団のレクが充実していたように感じました。レクの内容は的当てゲームでした。

▼久々に保育実習の時のフレッシュな感覚がかえってきました。久山で頑張ってきていますが、ここに来ると、自分は少し楽な方に行っているような感じがして、これから自分の目指す新しい方向がわかったように思います。また利用者の方への声かけも敬語で、すごく丁寧だと感じました。(保育士 原田太一様)

▼今回の実習は施設全体の受け入れでオープンな感じを受けました。質問もしやすい雰囲気があった。リラックスして実習にのぞめました。施設によっては、流れ作業のように説明される場所もありますが、恵の聖母の家は、ここはこうなのでこうですとの説明だったので、非常に理解しやすい実習となりました。(看護師 藤島信也様)



二〇一二年十一月に久山療育園の皆さまが二日間、施設実習に来て下さいました。ありがとうございました。皆さまの感想です。

## 施設実習

が、その前に利用者の方と関わりをとってからレクを始められる流れや、利用者職員が1対1でレクを行っている点にとても感心しました。(介護福祉士 山口真一)



### 退職

介護福祉士 河野潤二様  
准看護師 川野育寿様  
看護師 田中君代様  
(六月三十日付)

### 事務

佐藤心み子様  
(九月三十日付)

### 支援センター

看護師 佐藤文代様  
(七月三十一日付)

### 看護助手

井上真理子様  
高島悠太様  
(十月三十一日付)

ありがとうございます。今後の活躍をお祈りしております。



### 新規採用

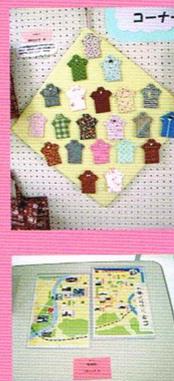
七月二十三日付  
看護助手 中村早苗  
支援センター 衛藤清春  
十月一日付  
支援センター 梶原澄子

### 非正規職員

七月一日付  
看護師 田中君代

## 作品介绍

二〇一二年六月の「家族の日・文化交流」の作品の一部を紹介いたします。素敵なお作品ばかりでした。



# 行事予定

※青色…施設外療育 ◎…ケースカンファレンス ㊦…個別面談 ㊧…権利擁護・虐待防止部会 ㊨…全体朝礼 ㊩…労働安全衛生委員会 ㊪…リスクマネジメント部会 ㊫…入浴日

12月			2013年1月			2月			3月		
1	土		1	火	正月行事	1	金	㊫	1	金	㊫
2	日	待降節	2	水		2	土		2	土	
3	月	㊫	3	木		3	日		3	日	
4	火	㊨㊩㊪㊫ 室内レク	4	金	㊫	4	月	㊫	4	月	㊫
			5	土		5	火	㊨㊩㊪	5	火	㊨㊩㊪
5	水	㊫	6	日		6	水	㊫	6	水	㊫
6	木		7	月	㊫	7	木		7	木	
7	金	㊫	8	火	㊨㊩㊪	8	金	㊫	8	金	㊫
8	土	クリスマスの集い	9	水	㊫	9	土		9	土	
9	日		10	木		10	日		10	日	
10	月	㊫	11	金	㊫	11	月		11	月	㊫
11	火	㊫	12	土		12	火	㊫ ㊫	12	火	㊫
12	水	㊫	13	日		13	水		13	水	
13	木		14	月		14	木		14	木	㊫
14	金	㊫	15	火	㊫ ㊫	15	金	㊫	15	金	
15	土		16	水		16	土		16	土	㊫
16	日	誕生会	17	木	㊫	17	日	誕生会	17	日	誕生会
17	月	㊫	18	金	㊫	18	月	㊫	18	月	㊫
18	火	㊫	19	土		19	火	㊫	19	火	㊫
19	水	㊫	20	日	誕生会	20	水	㊫	20	水	
20	木	㊫	21	月	㊫	21	木	㊫	21	木	㊫
21	金	もちつき㊫	22	火	㊫	22	金	㊫	22	金	㊫
22	土	㊫	23	水	㊫	23	土		23	土	
23	日		24	木		24	日		24	日	
24	月	サンタプレゼント	25	金	㊫	25	月	㊫	25	月	㊫
25	火	クリスマスミサ	26	土		26	火	㊫ ㊫	26	火	㊫
26	水	㊫	27	日		27	水	㊫	27	水	㊫
27	木		28	月	㊫	28	木		28	木	
28	金	㊫	29	火	㊫ ㊫				29	金	㊫
29	土		30	水	㊫				30	土	
30	日		31	木					31	日	㊫
31	月	㊫									

※予定変更の場合があります

## 編集後記

新しい年に期待をふくらませる季節です。2012年の感謝を申し上げるとともに2013年も皆さまにとりまして良き年となりますようにお祈りしております。今後ともよろしくお願い申し上げます。(S・M)